



発行 / 明石市立市民病院
編集 / 明石市立市民病院広報委員会
〒673-8501 兵庫県明石市鷹匠町1-33

電話 (078) 912-2323

ホームページURL

<http://www.city.akashi.hyogo.jp/hospital/shiminhosp/index.html>

あけましておめでとうございます

院長代行 門谷 洋一



新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、良き新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は日本では夏の猛暑が厳しく、また各地でのゲリラ豪雨による被害が相次ぎました。世界に目を向けると、大地震の頻発や地球温暖化の進行による異常気象で多くの災害や病気をもたらされました。人類の文明の発達で、何か地球の歯車を狂わせているような気がします。

そんな中で私たちは通常の病気だけではなく、異常気象や環境破壊による健康被害や、さらに強毒性新型インフルエンザをはじめとする新しい病気の脅威にさらされているように思います。今ほど医療に関心がもたれ、安心で安全な生活が求められている時はないのではないのでしょうか。

市民病院の役割は地域住民のニーズに応え、質の高い医療を提供することにより、市民の皆さんの健康的な生活に寄与することです。では、質の高い医療とは、どのようなことでしょうか？ 診断技術の高さ、治療成績の良さなどの医療技術面はもとより、医療の安全性、患者さんや地域の方々の満足度、医療の公共性、公平性、効率性、そして経済性や継続性も含まれるものだと思います。これらがバランスよく、高く維持されなければなりません。今、当院は医師不足による診療機能の縮小などで皆さんに大変ご迷惑をかけています。また、ここ数年は、経営的にも毎年大きな赤字を計上しており、このままでは病院の継続さえもが危ぶまれる状態です。私たち病院職員にとって、病院の改革を進めることは待ったなしの課題と認識しています。

このため、市民病院は本年10月から経営形態を変更し、地方独立行政法人として新しく出発する予定です。地方独立行政法人とは、自治体病院の経営を自治体から独立させ、新しく設立した法人が担うものです。法人に移行することにより、迅速で柔軟な病院運営を目指し、医師確保、患者サービスの向上につなげることを目的とします。しかし、市から独立するといっても、市が100%出資する直営の病院であることには変わりはなく、また診療内容も今までと大きく変わることはありません。むしろ、これまで以上に運営の責任体制が明確となり、透明性が確保されると同時に、改革のスピードアップにつながると考えています。

しかし、病院は経営形態を変えたからといって、それだけで改善できるものではありません。私たちはこれを機会に病院に真に求められている機能は何か、それを実現させるためのビジョン、具体的目標は何かを真剣に考え、取り組んでまいります。そして、病院の改革が成功するためには何より地域住民の皆さんのご支援がなくてはなりません。地域に必要とされる満足度の高い病院を職員一同で作り上げるべく努力をしておりますので、皆様のご支援を心からお願い申し上げます。

3.0T MRI装置が稼動します

放射線科

新聞でご覧になられた方もいらっしゃると思いますが、当院に3.0T（テスラ）のMRI装置が導入されることになりました。

従来は1.0Tと1.5Tの装置2台でMRI検査を行っていましたが、1.0T装置の老朽化のためより高磁場の装置へと更新されます。T（テスラ）というのは磁場の強さを示す単位です。一般的なエレキバンの強さがおよそ100mTですので約30倍の強さが3.0Tになります。

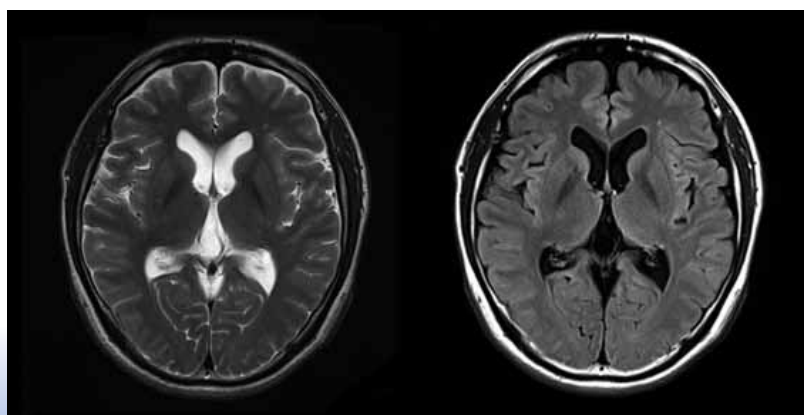
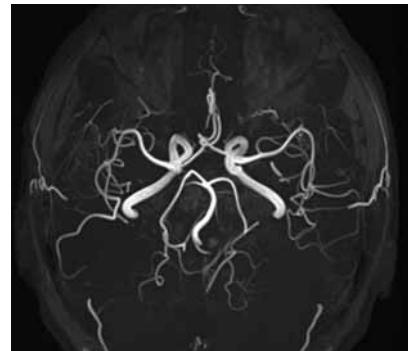
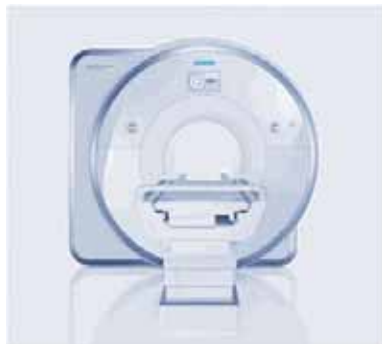
以前より強い磁場の中で検査を行うことで、より細かな画像を撮影することができ、その特徴を生かした特殊な検査を行うこともできます。

今回導入される装置はシーメンス社製の MAGNETOM SKYRA です。

2010年に発売されたばかりの最新の装置で日本では4台目の導入になります。検査を受けるときに入っていく筒の直径が70cmになり、一般的なMRI装置よりも10cm広くなっていますので圧迫感が少なくなります。

本来は全身のさまざまな検査に対応できる装置ですが、当面は最も得意とする頭部の検査を中心に行う予定です。

2011年2月から3.0TMRIの検査を開始します。1.5T装置も定期的なバージョンアップを行い最新の機能を搭載していますので、それぞれの装置の特徴を生かした検査を行っていきたいと思います。



院内コンサートを開催しました

平成22年12月4日（土）に入院患者さんを対象に院内コンサートを開催しました。今年は、ペルー出身の演奏家マクタクナスさんによるアンデス地方の楽器を使ってのアンデス音楽の演奏と、看護部によるハンドベルの演奏に合わせ、会場参加者と共にクリスマス曲の合唱を行いました。入院患者さんとご家族を合わせて約120名の皆様とともに、楽しいひとときを過ごしました。



いただいた感想

- ・アンデスの青い空、緑の山河、楽器、曲全て心が癒されました。ありがとう。
- ・寒い季節に南米の音楽は良かったです。有難うございました。
- ・看護師の皆さん、お忙しい中の練習大変だったと思います。とってもお上手でクリスマス気分になりました。アンデスの音楽も生で聴けて感動でした。
- ・久々の生演奏に感激しました。

※当日アンケート結果より

健康明石21市民公開講座開催のお知らせ

院内情報局

日時：2月19日(土) 午後2時～4時
場所：明石市立市民病院2階 講義室

※入場無料・予約不要です。

講座内容：・「高血圧とうまく付き合う」 担当 内科
・「腎臓・尿管結石の予防」 担当 泌尿器科

明石ケーブルテレビで放映中

市民公開講座の内容は、明石ケーブルテレビで、毎朝8時から15分間と金～日の午後7時30分から放映しています。

講座のポイント、難解な言葉、表現などの質問に対して講師が解説するなど、インタビュー形式のわかりやすい内容となっていますので、ぜひご覧下さい。

地域医療連携室だより

かかりつけ医を持ちましょう

● かかりつけ医とは

特定の病気の専門医ではなく、日頃からあなたの健康状態や体質や病歴を把握し、診療だけでなく健康管理上のアドバイスなどもしてくれる身近な医師のことです。

● かかりつけ医がいれば

あなたが病気になった時、適切で的確な診療をしてくれます。必要があれば病院などの専門医を紹介してくれます。往診など在宅医療を行う医師も多くいます。また、家族のことや健康についても気軽に相談に乗ってくれます。

● 市民病院の役割は

専門的な診断治療を行うことです。主に入院が必要な、いわゆる急性期の患者さんの診療を行います。

● 市民病院では

地域医療連携を推進しています。かかりつけ医と病院は連携して患者さんの診療を行います。症状の落ち着いている時の診療はかかりつけ医で、いざという時、入院が必要な状態の時は病院が診療します。かかりつけ医と病院の医師、二人の主治医があなたの健康を守ります。

∴ かかりつけ医を持ちましょう！ 地域医療連携室のメンバーです！ ∴



後列左から 岩崎師長・小牧副師長・山本MSW・福富MSW
前列左から 長谷川事務員・藤村室員・上山室長・辻井事務員・吉岡事務員

こんにちは。

地域医療連携室の医療ソーシャルワーカーです。



私たちは、患者さんが生活を営む地域の医療機関や介護、福祉に関わる方々との連携をスムーズに行うことを心がけています。

医療ソーシャルワーカーの業務に、患者様の退院支援があります。なかでも患者様のケアマネージャーさんと、連携をとることが大変多くなってきました。

在宅生活では、ケアマネージャーさんに、大変お世話になっていますが、担当の利用者さんが急に入院となったときにも、在宅での生活状況を教えていただいたりしています。

また、ケアマネージャーさんには、退院時に守っていただきたいことを、患者様や御家族と聞いていただくこともあります。時には病院のスタッフがケアマネージャーさんを交えてリハビリの状況やお薬の情報カンファレンスを行っています。

住み慣れた場所で、安心して暮らすことができるように、病院のソーシャルワーカーと地域のケアマネージャーは、いつも連携して、患者様の健康について考えています。

地域医療連携室の看護師からご挨拶

地域医療の連携がますます重要となってくる中、当院も患者・家族の皆様に必要な医療の提供、かかりつけ医を基地とした適切な医療資源の利用、継続した医療を受けるための協力病院としての役割を果たせるようネットワークを充実していきたいと考えています。

そのための取り組みとして、退院支援、訪問看護ステーションとの連携、医療相談に力点を置いて、次のような取り組みを行っています。

【退院支援】 入院早期から病棟と連携を図り、急性期の治療が終了し、安心して在宅や地域の医療機関、施設へと療養の場を移せるように調整を進めていますので、カンファレンスへの参加をよろしくお願いします。

【訪問看護】 当院の看護師が訪問看護ステーションの看護師と連携し、病院から在宅へと切れ目のない看護を提供いたします。

【医療相談】 ソーシャルワーカー二人と協働し、受診や転院相談、医療費など経済面に関することや、介護保険・社会福祉制度などの相談にあたっています。

今後とも地域の医療機関・施設をはじめ皆様方とよりよいコミュニケーションのパイプ役となれますよう力を合わせてまいりますので、ご指導よろしく願いいたします。

明石市立市民病院外来診察予定表

平成22年12月1日現在

			月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
内科 (注1)	1 診	専門外来再診	佐々木 享(初診)	真嶋 隆文(糖尿病)	佐々木 徹(午後診)	奥 成聡(血液)	中島 寿樹(糖尿病)
	2 診	再診/予約診	丹田 修司(腎臓透析)	佐々木 享(高血圧高脂血症)	佐々木 享(高血圧高脂血症)	今井 幹昌	奥 成聡(血液)
	3 診	初診	奥 成聡	佐々木 徹	宮川 浩太郎	宮川 浩太郎	橋本 哲也
	4 診		西馬 照明(呼吸器) (完全予約制 1,3,5W 9~12時)		丹田 修司(腎臓透析)	城戸 秀典(腎臓透析PM) 真嶋 隆文(糖尿病 PM)	
循環器科	1 診		橋本 哲也		阪本 健三		浅田 聡
	2 診		浅田 聡	今井 幹昌	塚本 正樹	阪本 健三	塚本 正樹
	ペースメーカー外来			阪本 健三(3W)			
神経内科	初診/予約診	小別所 博	井元 万紀子/小別所 博 (再診の場合完全予約制)	小別所 博 (11:00迄)	小別所 博	大塚 喜久 (完全予約制)	
消化器科 (*)	1 診	完全予約制	藤本 二郎	交代制	藤本 二郎		松本 次弘
心療内科 ・精神科	1 診	予約診	忠井 俊明	岸本 智数	忠井 俊明	忠井 俊明	岸本 智数
	(午後)	予約診	忠井 俊明 (児童思春期)	岸本智数/小林 実 (不安障害) (認知症 2,4W)	忠井 俊明 (心理療法)	忠井 俊明 (うつ病)	岸本 智数 (パニック障害)
	2診(午後)	予約診		忠井 俊明(心理療法)	岸本 智数(不安障害)		濱田 伸哉(精神疾患)
小児科 (注2)		貫名 貞之	森 保彦	貫名 貞之	柴田 真弓	交代制	
外科	1 診	初診/予約診	森田 修司	藤木 博	門谷 洋一	満尾 学	門谷 洋一
	2 診	予約診	園山 宜延	金城 信雄/神田 圭一(2W)	安岡 利恵	藤木 博	森田 修司
	乳腺外来	予約診			門谷 洋一		門谷 洋一
	血管外来	予約診		神田 圭一(2W)/藤木 博			
整形外科 (注2)	1 診	初診/予約診	大槻 康雄	景山 直人	山田 充彦	松井 隆明	國友 泰輔
	2 診	予約診	山田 充彦	大槻 康雄	松井 隆明	國友 泰輔	景山 直人
脳神経外科				齋藤 実(11:00迄)	齋藤 実	秋山 英之	齋藤 実
皮膚科			野田 洋介	野田 洋介	野田 洋介	野田 洋介	森野 幸子
泌尿器科 (注3)	予約診		山中 邦人		木下 佳久	山中 邦人	木下 佳久
産婦人科 (注4)	1 診		小林 八郎	橘 敏之	小林 八郎	小林 八郎/橘 敏之	橘 敏之
	助産師外来	予約診			谷川 明美		
眼科	1 診	予約診		辻村 まり	辻村 まり		辻村 まり
	2 診	予約診	交代制	中西 頼子	中西 頼子	交代制	中西 頼子
	3 診	予約診		末吉 理恵	末吉 理恵		末吉 理恵
耳鼻咽喉科			柴田 敏章	府立医大医師	森岡 繁文	柴田 敏章(11:00迄)	森岡 繁文
	(午後)	予約診	柴田 敏章		森岡 繁文		
放射線科			門澤 秀一/吉田 賢史	門澤 秀一	門澤 秀一	門澤 秀一	門澤 秀一
麻酔科	予約診		上藤 哲郎	本城 康臣	本城 康臣/辻本 三郎	上藤 哲郎	上藤 哲郎/辻本 三郎

(注1) 内科で、診察予約をされる方は、午後4時~5時の間にお願いします。

(注2) 整形外科、小児科で、診察予約をされる方は、午後2時~4時の間にお願いします。

(注3) 泌尿器科で、診察予約をされる方は、午後4時~4時30分の間にお願いします。

(注4) 産婦人科で、診察予約をされる方は、午後2時~3時の間にお願いします。

(注1~4) 以外の科で、診察予約をされる方は、午後3時~4時の間にお願いします。(眼科・放射線科・麻酔科を除く)

(*) 当面は開業医等からの紹介患者様に限らせていただきます。

市民病院は地域医療連携を促進します。市民の皆さんは、**かかりつけ医**を持ちましょう